

一般社団法人 日本損害保険協会 助成
第21回 脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会

高次脳機能障害者が地域で いきいきと暮らすために

日時 平成30年 10月 27日 土
午後1時00分～午後4時10分



舞鶴赤十字病院
1階講堂

講演



1 「高次脳機能障害とは」

舞鶴医療センター研究部長(脳神経内科) 吉岡 亮先生

講演



1 「支援を普及させるためには」 ～10年後、各地域単位で支援ができる体制を目指して～

福井県高次脳機能障害支援センター
支援コーディネーター(作業療法士) 中島 裕也様

2 「高次脳機能障害の夫と共に13年」

福井県脳外傷友の会「福笑井」会長 村下 恵美子様

2人の
プロフィール

福井県では「いつでも、どこでも、誰でも」をスローガンに取り組んでおられます。当事者・家族・支援者がどんな情報に気づき、どう支援を展開していくのか、後遺症を上手に理解し、上手に付き合っていくためにどうしたらよいか、今回、高次脳機能障害について、リハビリ・支援の立場と当事者・家族の立場、二つの視点からご講演頂きます。



舞鶴市身体障害者福祉センター

☎0773-63-3008

京都府リハビリテーション支援センター

☎075-251-5399

お問い合わせ先

他、地域の支援機関の報告・発表

参加費：無料
(事前申込不要)
どなたでもご参加
いただけますので
ぜひお越し下さい。
要約筆記
あります

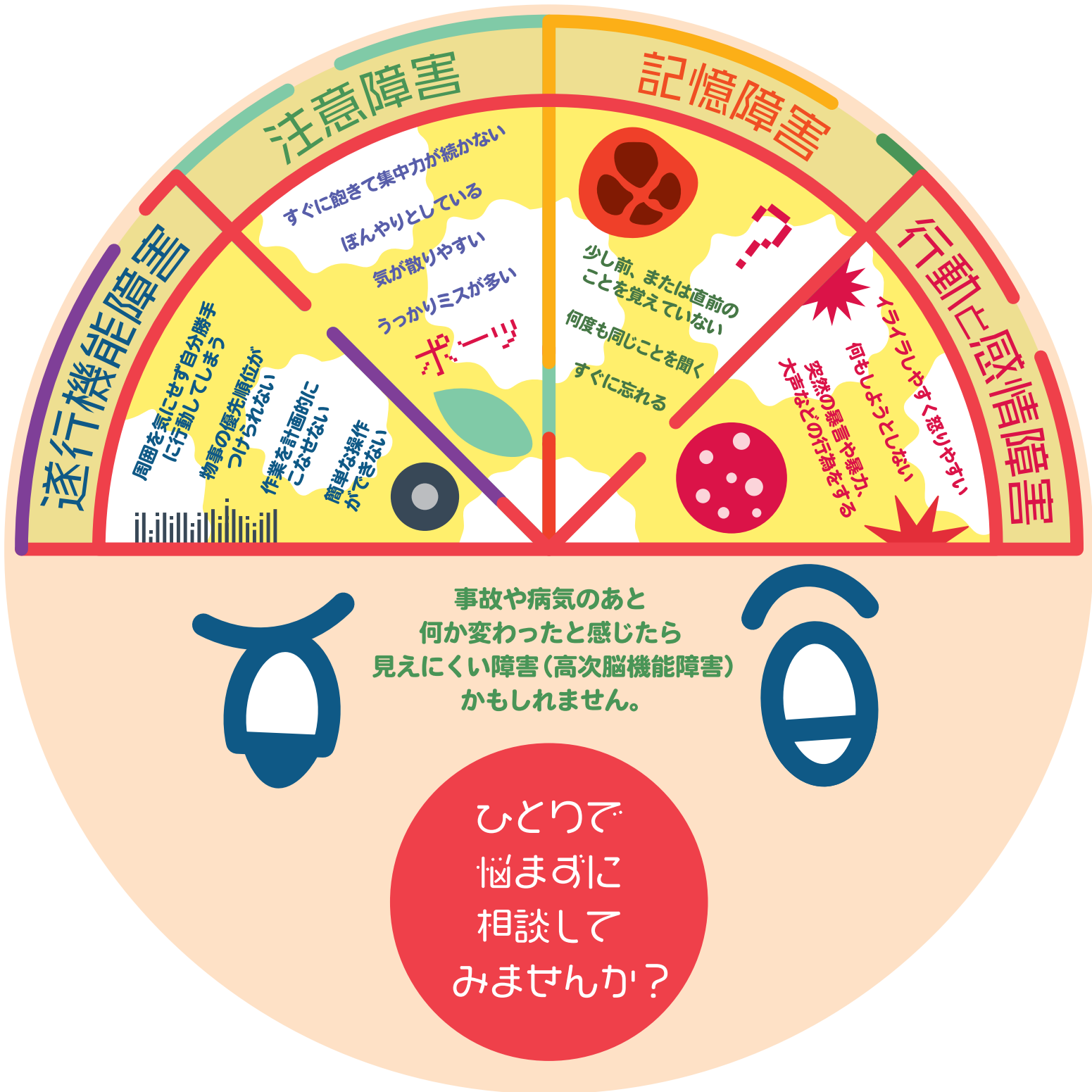
主催：
脳外傷・高次脳機能障害リハビリテーション講習会
京都実行委員会

協力：京都府、
中丹東圏域地域リハビリテーション支援センター、
中丹圏域障害者自立支援協議会

後援：舞鶴市、一般社団法人 京都府医師会
公益社団法人 京都府看護協会、一般社団法人 京都府理学療法士会
一般社団法人 京都府作業療法士会、一般社団法人 京都府言語聴覚士会
京都府精神保健福祉士協会、一般社団法人 京都府臨床心理士会
社団法人 京都社会福祉士会、公益社団法人 京都府介護支援専門員会
社会福祉法人 京都府社会福祉協議会、京都医療ソーシャルワーカー協会、京都府教育委員会、京都弁護士会

高次脳機能障害とは

病気や事故などが原因で脳が損傷し、言語・思考・記憶・行為・学習・注意などに、機能障害が起きた状態を高次脳機能障害といいます。



事故や病気のあと
何か変わったと感じたら
見えにくい障害(高次脳機能障害)
かもしれません。

ひとりで
悩まずに
相談して
みませんか?

思いもよらない事故や病気に遭遇して、様々な不安や悩み、戸惑い、ご苦勞を抱えていませんか？
身体的なケガや病状は他人からみてもわかりますが、脳の傷は見えわかりません。
当事者本人も自分の症状に気づきにくく、前と変わりはないと思っていることも多いです。
性格が変わった、何が変わったかわからないけど色々うまくできなくなった、…など
外見上は問題ないように見えても、脳を損傷したことによって「高次脳機能障害」の症状があるかもしれません。
病院でのリハビリが終了し、退院して家庭での生活や仕事に復帰した後に、現れる変化に本人や家族、
周囲が戸惑い、誤解し、しばしば対人場面でトラブルになることもあります。
周りのサポートや対応を知ることにより、生活がしやすくなることもあります。
できること、できないことがわかり、就労につながることもあります。